

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公開番号】特開 2020-27231 (P2020-27231A)

【公開日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-007

【出願番号】特願 2018-153580 (P2018-153580)

【国際特許分類】

G 0 3 B 9/02 (2021.01)

G 0 3 B 9/06 (2021.01)

【F I】

G 0 3 B 9/02 A

G 0 3 B 9/06

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光通過開口を有するベース部材と、

前記光通過開口に対して出入りする複数の第 1 の絞り羽根からなる第 1 の絞り羽根群と

、

前記光通過開口に対して出入りする複数の第 2 の絞り羽根からなる第 2 の絞り羽根群と

、

を備え、

絞り全開から中間絞りに変化する過程では、前記第 1 の絞り羽根群のみ、もしくは、前記第 2 の絞り羽根群のみ、もしくは、前記第 1 および第 2 の絞り羽根群の協働により絞り開口を形成し、中間絞りから最小絞りに変化する過程では、前記第 1 および第 2 の絞り羽根群のうちの一方の絞り羽根群のみで絞り開口を形成し、他方の絞り羽根群は開口が開く方向に移動することを特徴とする光量調節装置。

【請求項 2】

前記第 1 の絞り羽根群は、前記光通過開口の周囲に環状に重なって、光軸に沿って一方向に編み上がるように組み込まれ、前記第 2 の絞り羽根群は、前記光通過開口の周囲に環状に重なって、光軸に沿って前記一方向と同じ方向に編み上がるように組み込まれることを特徴とする請求項 1 に記載の光量調節装置。

【請求項 3】

中間絞りから最小絞りに変化する過程で前記絞り開口を形成する前記一方の絞り羽根群に対し、前記他方の絞り羽根群を前記一方向側に配置したことを特徴とする請求項 2 に記載の光量調節装置。

【請求項 4】

前記第 1 の絞り羽根群と前記第 2 の絞り羽根群は、前記光通過開口の周囲を回動する駆動リングから駆動力を受け、前記光通過開口に対して出入りすることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の光量調節装置。

【請求項 5】

前記第 1 の絞り羽根は、第 1 の回転中心係合部と第 1 のカム溝とを有し、前記第 2 の絞

り羽根は、第 2 の回転中心係合部と第 2 のカム溝とを有し、前記ベース部材はカムピンを有し、前記カムピンは、前記第 1 のカム溝と前記第 2 のカム溝に係合していることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の光量調節装置。

【請求項 6】

前記第 1 の絞り羽根は、第 1 の回転中心係合部と第 1 のカム溝とを有し、前記第 2 の絞り羽根は、第 2 の回転中心係合部と第 2 のカム溝とを有し、

前記光通過開口の周囲を回転して、前記第 1 の絞り羽根と前記第 2 の絞り羽根とに駆動力を与える駆動リングをさらに備え、

前記駆動リングが有するカムピンは、前記第 1 のカム溝と前記第 2 のカム溝に係合していることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の光量調節装置。

【請求項 7】

光路を形成する鏡筒と、前記鏡筒内に配置された複数のレンズとを備え、

前記複数のレンズ同士の間、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の光量調節装置が配置されたことを特徴とする光学機器。